



会長あいさつ

曾於市農業委員会

会長 飯野幸生

農業委員会だよりの発行にあたり一言ごあいさつを申し上げます。
皆様におかれましては、ご健勝にてお過ごしのことと思います。平素から農業委員会活動に対して格別のご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、昨年の7月1日に財部町、末吉町、大隅町が合併して曾於市が誕生しました。農業委員会も曾於市農業委員会となって、人口が約4,400人、農家戸数が6,572戸、農地面積が9,090ヘクタールとなったところであります。

また、私ども農業委員については、選挙による委員が30人、団体と議会の推薦による委員が6人の合計36人の構成となり、このうち女性委員は5人となっております。組織としては、旧町ごとに農地部会を設置し、また10名の委員による農政部会も設置して行政委員会として活動しているところでございます。

ところで、日本の農業は少子高齢化の進行や、諸外国からの農畜産物等の輸入により、大きく圧迫されてきております。曾於市の農業を取り巻く状況においても、近年の高齢化の進行や後継者、担い手の減少等により、優良農地の荒廃が進み、遊休農地も増えてまいりました。また、農地の流動化もなかなか進みにくい環境下であり、農政上の大きな課題となっているところであります。

このような中で、平成17年3月の「食料・農業・農村基本計画」において、担い手への施策の集中化・重点化が明確にされました。一方では、近年のBSEや鳥インフルエンザ等で、国民の「食の安全・安心」に対する関心は高まってきており、更に子供達への食農教育も推進されてきており、日本の農業への理解も深まっていくことと思えます。

曾於市農業委員会としましては、国の施策や国民・住民の意思を尊重しながら、優良農地の確保、農地の有効利用、担い手農家への農地の集積、遊休農地の解消等に積極的に取り組み、行動する農業委員会として農家や地域の期待に応えるよう、努力していく所存でございますので、ご理解、ご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます、挨拶といたします。